

# Tia's

豊岡市国際交流協会  
運営委員会発行

豊岡市国際交流協会ニュース

2009年新春臨時号

## 「協会自立にあたって」

豊岡市国際交流協会  
会長 藤原 俊輔

豊岡市国際交流協会会員の皆様、平素より深いご理解と多大なお力添えを賜わりましてありがとうございます。

年頭にあたりましてあらためて感謝とお礼のご挨拶を申し上げます。

本協会は、いよいよこの平成21年度より自主運営へ最大限努力することになりました。これは豊岡市方針により、当本部理事会は平成19年度から、協議を重ねたことです。人件費補助を含めて補助金交付を受けないので、それぞれの事業を実行委員会で行い、理事やボランティアスタッフが関わっていくこととなります。そのため、協会が運営しやすい新しい組織体制の見直しをはかり、当地域在住外国人への支援事業を積極的に推進する方策を考え実行しなければなりません。

漸増する外国人へのコミュニケーションや情報伝達は、日常生活の安心感、就業時の効率化、災害時の孤立防止・防災に必要不可欠です。そこで日本語教育への教育設備とそのボランティアスタッフ育成と確保及び語学講座の開催、料理教室や各種パーティなどの交流事業をする必要性が出てくるわけです。

一方、外国姉妹都市との交流事業の継続発展も重要で、市の窓口と実施への支援、ホームステイ受け入れ、フォローアップの協力があります。

これには多くの市民参加、協会加入の必要があり、今後のより一層のご理解とご協力を仰ぐ次第です。情報誌Tiaやホームページへのアクセスも併せてお願いしましてご挨拶いたします。



水谷副会長  
藤原会長

稲葉副会長  
笹谷副会長

当協会の会長ならびに副会長



# 国際交流協会が自主運営!?

自主運営??何のこと?と思う方があるかもしれませんが・・・

**Q：何故このようになったのですか？**

**A：**平成18年12月に策定された、『豊岡市行政改革大綱』に基づき、市内の各団体への補助金削減や、現在市役所内で事務を担っている団体の事務局を市役所から直接団体で運営するという決定によるものです。

**Q：今どのような手続きが行われているのですか？**

**A：**平成19年度から補助金は3割減額、19年度、20年度の2ヵ年で自主運営へ向けた手続きを進めることになりました。それを受け、平成19年5月から協会理事を中心に、協会のありかたや自主運営の是非について何度も議論を重ね、平成20年1月の理事会で、自主運営に向けて組織の再構築をしていくこととなりました。さらに、20年5月の協会総会で経過説明を行い、自主運営化の方向についてご了解いただいたところです。

**Q：具体的にはどのように変わるのですか？**

**A：1. 大きく変わります・・・補助金がなくなります**

平成20年度まで市からの補助金がありましたが、平成21年度からなくなります。今後は会員会費や参加者負担金でまかなうことになります。これにより今までの協会事業を見直すことになります。

**2. 全体の事業見直しを行います**

平成20年度に就任した理事8名のうち、4名の運営理事が選出をされ、事務局から説明を受け、事務事業全体の棚卸作業をし、21年度に向け検討をしています。

**3. 今までの運営体制が変わります**

協会事務局は、市役所（本庁及び総合支所）から外に出ることになります。

これまでは事務局を市で運営していましたが、平成21年度から協会役員と会員が役割分担しながら行うことになります。

**4. 子どもの派遣受入交流事業は・・・**

平成21年度からモンゴル、韓国慶州市、アメリカ・ウイットマン中学校との子どもの派遣受入事業は、市が直接実施します。

**Q：自分たちで全部しないといけなくなるのですね？**

**A：**はい、すべて協会役員と会員で運営および事業展開を行わなければなりません。

**Q：とても多くの事務量があるように感じられるのですが、そのようなことが可能なのでしょうか？**

**A：**前段で説明したように協会の運営、事業内容を検討していく必要があります。



## そこで会員の皆さんへのお願い・・・

今後は市のサポートをあてにせず、協会役員、会員共に協力し合い国際交流協会の活動をしていかなければなりません。平成21年度から実際に事業展開を進めていくのですが、果たして今まで行ってきた協会事業並び運営を私たち4人の運営理事だけでやっていけるか不安！？

そんな私たちが今一番求めているのは、一緒に活動していただけるボランティアスタッフなのです。どんな小さなことでもいいので一緒に事業をお手伝いいただける方、『こんなことくらいなら手伝えるよ』『こんなことやってみたいんだけど・・・』『すこしくらいならOKだよ』と手を挙げていただける有志の方がおられましたら、ボランティアの参加登録をお願いします。

## Tia 会員報告

### 企業訪問

但馬TSK(株)

－訪問者－ 出石支部 土野礼子

豊岡市出石町にあります但馬TSK(株)を訪問しました。目の前に高くそびえる東床尾山(高さ839m)、田んぼや畑、その山間を流れる出石川、とても静かで美しい自然の中に位置しています。

但馬TSK(株)は、自動車や二輪車、船舶、その他建設機械などに使われているコントロールケーブル(遠隔操作システム)を製作する世界的な専門メーカーで、豊岡市国際交流協会に法人会員として登録いただき、交流活動に協力いただいています。以前はインドネシアから、5～6年前から中国より研修生の受入れが行われています。私が伺った時はあいにく社長の吉野様が中国に出張中だったため、研修生の受入れを担当される総務課長の中島様にお話しをお聞きしました。

Q：但馬TSKの従業員数は何人ですか？

A：200人くらいです。

Q：外国からの研修生の受入れはいつ頃からされていますか？

A：約20年前からしています。

Q：現在、外国人はどの国から何人くらい来ていますか？

A：中国から男性が3人、女性が6人の計9人が来豊して研修を受けています。

Q：外国人はどのくらいの期間日本で働くのですか？

A：但馬TSK(株)出資会社からの受入れ研修生は1年間ここで働き、中国のYTP「烟台但馬汽車部件有限公司」(えんたいたじま きしやぶ けん ゆうげん こうし)に帰り働きます。協同組合(受入機関)からの紹介は3年間(1年研修、2年実習)働き、中国に帰ります。

Q：但馬TSKが研修生を受入れする目的はどのようなことですか？

A：研修生が中国に帰ってから指導する立場につけるよう、日本で教育することです。また、日本の企業と取引が行えるように指導していくことです。

Q：最後に国際交流協会が行う事業に研修生が参加できますか？

A：人数が多いため住んでいる地域での事業には参加することはできますが、遠い所での事業には参加できにくいと思います。

－中島様、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。－



## 会員視察研修会レポート

会員研修バス旅行に参加して

但東支部 大月眞子

見事な紅葉を眺めながら最初に訪れたのは、世界で唯一のラーメン博物館。そこではカップに絵を描き、好みのスープと具を選んで、オリジナルのカップヌードルを作りました。また、多くの展示品からラーメンの開発に携われた大変な努力を知りました。昼食は、自慢の料理が並んだホテルバイキングで、沢山の料理を前にして、皆さんの幸せそうな笑顔がこぼれていました。私は腹八分目に控えることなど忘れ、お腹が満ち足り過ぎて、次の海遊館での歩き回りがエネルギーの消耗になって有難かったです。



世界の10地域を14の水槽で再現してある海遊館では、9メートルの深さの中をジンベイザメが悠々と泳ぎ、大きなエイが目の前でクルリと宙返りをしてくれました。私が一番魅了されたのはクラゲ館でした。レースのような細く長い触手がまるでウェディングドレスのようでピンク、オレンジ、白そしてブルーの透き通った身体がピクピク動きながら漂っている様は、クリスマスのイルミネーションのようでした。何よりも神秘的で幻想的な世界がそこにありました。お陰で心も身体も満足しきった本当に楽しい一日でした。

今回は、豊岡市の各方面からの参加により沢山の方々との出会いがあり、また繋がりも生まれました。この繋がりを大切にして、時にはこんなふうを楽しみながら、協会のいろいろな事に取り組んでいけたらと思います。

### 会員の皆様へ

この手作り新聞は私たち運営理事で会議を重ねた中で、  
会員の皆様に今後の国際交流協会を少しでも知って頂こうと思い発行しました。

### 編集後記

日高支部 大森

来年度から、豊岡市国際交流協会が自主運営になるんだって？今までの事業はどうなるの？事務局はどうなるの？4つの旧市町から一人ずつ運営委員が出て協議することとなりました。外国語講座ひとつとっても、それぞれ違いがありますが、何回か食事会を重ねるうちに親密感が増し、何とかかなりそうな気がしてきました。まだまだいろいろ課題が出てきそうですが、会員の皆さんの協力で乗り切っていきたいと思います。

出石支部 土野

豊岡市国際交流協会が誕生し3年になります。協会は、平成21年度行政から自立し会員による自主運営のスタートを切ろうとしています。今後の協会としてのあるべき姿や果たすべき役割を検討し、協会の状況に応じた事業運営ができる案づくりに頑張っています。その担い手は会員一人ひとりです。ボランティアや居住外国人と共に歩む地域に開かれた協会であり続けることを念頭に入れ、新たな協会としての役割を忘れてはならないと思います。



豊岡支部 植村

協会の話ではなく昨年度は暗い話ばかり・・・そんな中、今とても楽しみにしているテレビドラマで「アグリー・ベティー」というシリーズなのですがこれがすごく面白い！！それだけでなく家族、兄弟の大切さ、友人への思いやり、仕事への情熱…日々の自分に思い知らされることがあります。少し協会から離れた話をしてしまいましたが、このドラマを見てると外国の国民性や日々の生活文化が見えて少し勉強になる!?ので機会があれば見てくださいね。とても元気が出ますよ！

但東支部 河部

21年度より自主運営となり、現在行政からの引き継ぎ作業に奮闘しています。「エーっ!!国際交流も民営化？」と不安と疑問をいだきながら、ただ、ただ、内容の広さと重さに押しつぶされそうになり、責任の重大さを感じています。みんなに愛され、親しみを持たれる国際交流を目指し、幅広く皆さんをウェルカムしたいと思います。